

# ほっとにゅーす

15日版

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。

あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）まで事前にお知らせください。



木之本地蔵大縁日

眼の仏様、延命息災の仏様として古くから信仰を集めてきた木之本のお地蔵さま。今年も地蔵院で法要が行われたほか、旧北国街道や地蔵坂通りに露店が立ち並び、たくさんの方でにぎわいました。最終日にはふるさと夏まつりとして花火が打ち上げられ、夜空を華やかに彩りました。

8/22(水)  
~25(土)



伝統を守り継ぐ

地元の子どもを主役とする「下余呉太鼓踊り」は、明治時代、東本願寺の御影堂再建の際、下余呉から京都へ木材を運ぶ人々を慰労するために、踊ったとされています。

この日のために1か月以上練習を重ねてきた子ども達。平彌神社の境内で踊る姿が神秘的な雰囲気を醸し出していました。

8/19(日)



長浜を学んで、愛して

長浜の文化・歴史・自然そして地域の人にふれることで、長浜を愛し、大切に思う心を持ってもらおうと7回シリーズで行われている「子ども長浜学」。

3回目のこの日は、「すいすい号」に乗って竹生島を学び、養殖業者を訪ねてビワマスへの餌やりを体験しました。

最後はビワマスと鮎を焼き、ふるさとの味を堪能していました。

8/26(日)



「いつも」も「もしも」も利用して

小谷丁野町の自主防災組織の皆さんが、「防災かまど」づくりを行いました。モルタルとレンガを重ねていく作業は予想以上に難しく、作業は4時間に及びました。

普段は花壇として、またバーベキューにも使えるこのかまど。万が一の防災対策に加えて、平時にも活用することで新たな地域のつながりが生まれそうですね。

8/25(土)

「滋賀県で活動する生協として、地域のみなさんと一緒に琵琶湖の水源を守る森林づくりに参加することは、とても意義深いこと。これを機に、森林を守る大切さの学習を強めていきたい。」(西山さん)

「森林整備費や交流活動を通じて、末永く交流を深めたい」(大澤さん)



滋賀県知事、長浜市長の立会いのもと署名する生活協同組合コープしが代表理事理事長 西山実さん(右から3人目)と中之郷生産森林組合組合長理事 大澤保夫さん(同2人目)

生活協同組合コープしがと、中之郷生産森林組合が、市内で森林づくり活動を開始するにあたり、「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を結びました。「琵琶湖森林づくりパートナー協定」とは、滋賀県琵琶湖森林づくり条例に基づき、県民全体で支える森林づくりの一環として、パートナー協定の趣旨・仕組みに賛同した企業が森林所有者と協定を結び、森林整備に参画する取り組みです。

「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結

8/29(水)